

令和 5 年 3 月 17 日

令和 4 年度 第 3 回 富岡小学校学校運営協議会 議事録

14:40～16:00 (図書室)

【参加者 10 人 (横山、飯塚、佐々木、山田奈、岩下伸
塚田、片桐、岩下由、校長、教頭)】

＜ 6 年生を送る会の参観＞ 5 限 13:40～14:25

＜会議議事録＞

1 開会の挨拶 会長 横山 明夫

「6 年生を送る会」を参観し、各学年の児童が 6 年生のためにいろいろなことに取り組んでおり、子どもの能力は素晴らしいと感じた。これも先生方が熱心に教育活動に取り組まれた成果だと考える。今日は、1 年間のまとめとして学校運営協議会委員から活発な意見交換をしていただきたい。

2 校長の挨拶 校長 石田 浩久

今日は、「6 年生を送る会」を委員の皆さんから参観していただいた。今日、見ていただいた子どもたちの現在の姿から成長や課題を見出し、令和 4 年度の学校経営の評価や令和 5 年度の学校運営基本方針等の承認をいただきたい。

＜審議内容＞

1. 令和 4 年度の学校経営について

(1) 今年度の学校経営の振り返り (校長)

子どもの姿から

○新型コロナによる学年閉鎖 1 回。感染拡大なし。教育活動は、ほぼ予定通りに実施。

○遊びの場の環境整備や縦割り班活動の充実等により、元気に遊ぶ子が多い。

○iPad の日常化、学習支援ボランティアの拡充による学習意欲の向上。

▼NRT 学力検査は全国平均と同程度だが、全国学力調査や Web 診断テストの結果は、県平均を大きく下回る。

⇒長文読解、記述問題、活用問題に対応する力の育成。

職員育成、働き方改革から

○月 45 時間以上の超過勤務率… 12.3% (上越市 44.6%、県 37.6%)

月 80 時間を超える時間外勤務… 0 件、平均超過勤務時間… 30 時間 45 分。年休取得平均… 16 日、時間外緊急電話の活用… 数件。

- 教職員のけがや事故、非違行為…0件。
- 早期の家庭確認・個別懇談と通知表の見直し。保護者との連携・協力。
保護者評価「学校の様子を伝える」…100%、「連絡や相談対応」
…91.3%
- 授業研究をとおした目指す子ども像の共有、子ども観や授業観の向上。
- ▼休校時や長期欠席者へのオンライン学習の推進と質の向上。
- ▼部活動の地域移行に伴う、金管課外の在り方の検討。

地域とのかかわり、その他から

- コミュニティ・スクールとしての地域とともにある学校づくりの促進。
(積極的な情報発信、趣旨の共有化、熟議による目指す子ども像の共有化、GDへの位置づけ)
- 学校支援ボランティア等の拡充と教材化。
(保護者、上教大・実習生、退職校長会、上越科学館、公民館、交通安全協、警察署、自衛隊、みつわ会、老人会、総合的な学習等の講師、など)
- 「富岡スタンダード」を学校とPTAと青少年育成会議による共通取組
- PTAのスリム化・改革の推進、活動内容等の継続的見直し。
- 図書室の配架改善、ヤギ広場拡張、とみやま君などの教育環境の整備。
- ▼地域の魅力を生かした特色ある教育活動の一層の推進と開発。
- ▼城東中学校区小中一貫教育の取組。
- ▼通常の学級における支援を必要とする児童への教育支援、人的支援の充実。

(2) 後期学校評価アンケートの結果について(教頭)

<児童アンケート>

- ・児童アンケートでは、13項目中、11項目で肯定的評価(A+B)の数値が80%を超えた。80%を超えなかった2項目も77.2%と78%であり、1学期とほぼ同じ結果だった。多くの児童が学習・生活・健康の項目において、努力し、頑張ったことが分かる。特に1学期よりもよい数値の項目が6つもあった。

<保護者アンケート>

- ・保護者アンケートでは、10項目中、1学期より1つ項目が増え9項目で肯定的評価(A+B)の数値が80%を超えた。その中でも「学校は、教育方針や教育活動の内容を、学校・学年便り、学校ホームページで分かりやすく伝えている。」は、100%だった。また、2学期の教育活動に対するご意見をいくつかいただいた。全職員で共有し、今後の教育活動に生かしていく。特に、コロナ感染症に関するご意見をいくつかいただいたが、ご意見は真摯に受け止め、感染状況を鑑みながら、最善の対応ができるよう努めていく。

(3) 令和4年度の成果と次年度に向けた課題・改善の方向

<知育部>

○学びの足跡や手掛かりが掲示され、視覚的支援となっている学級が多かった。

○すきま時間を見付けて読書に親しんでいる児童が多い。

○子どもたちが話し合う必要がある課題を設定し、教師の関わり方や環境設定を工夫することで、対話の質を高めることができた。

○テスト後のテスト直しはどの学年でも取り組めた。Webテストではグループでの振り返りの時間を大切にしていく。

▼言われたことは行うが、自分の考えで進めることが難しい。

▼高学年では、読書の時間を設定することが難しい。読書習慣を付けていくためには、低学年のうちに読書の楽しさに浸らせる、学校司書の活用、すきま時間には読書を薦める、家庭読書を薦める。

▼テストは全体的に知識・技能はよいが、思考・判断・表現が弱い。

<徳育部>

○スマイル班活動では、上学年が下学年を気遣い上手にリードして遊ぶ姿が見られた。休み時間も高学年が低学年を誘って、よく交流した。

○グループや異学年交流は、相手を気遣う優しい言葉を掛け合い、励まし合って活動する子が多い。

○登校時のあいさつは、委員会や昼の放送などの取組でかなり良くなっている。

▼固定された人間関係があり、友人関係が広がりにくい子が高学年にいる。

▼相手のことを決めつけたり、あだ名を付けて呼んだりするなど、冷たい言葉遣いや接し方が見られる。遊びの中での呼び捨てや言葉遣いが課題である。

<体育部>

○休み時間に異学年で鬼ごっこやボール運動をしたりする姿が見られた。上級生との交流は楽しく体を動かす原動力となった。

○反復横跳びの落ち込みが見られなくなっている。これまで取り組んできた成果である。

○カードを3学期分まとめた形に変えて1年間の変化を感じたり、振り返ったりすることができるようにした結果、子どもたちの意識の底上げができています。児童アンケートでは、否定的な解答が減少している。

▼今年度は、50m走に落ち込みが見られる。筋力を高める運動を取り入れていくことが大切である。

▼教員のアンケートでは、自身が行ってきたか、取り組んでいるかという聞き方により、否定的な回答になる傾向にある。生活リズム週間では、もう少し呼び掛けてもらうように体育部で連携をはかり、行っていきたい。

*意見交換

- ・学習に対して主体性を伸ばしていくことは大切だと思う。やらされてやるよりは、自分から取り組んだ方が学習は定着すると思う。

- ・家庭学習でも言われたことはやるが、自分から進んで学習しようとはしていないように思える。
- ・家庭環境も大切だと思う。インターネットがつながらないようにしたり、時間を制限したりして、ゲームやユーチューブを見られなくすると別のことをやるようになると思う。
- ・インターネットやテレビ、ゲームばかりではなく、読書や自主学習等に取り組んで理解力を伸ばしてほしいと思う。
- ・インターネットやゲームの時間が終わっても、学習しようとはなっていない現状がある。
- ・家庭では、メディアの時間制限を設けているが、その時に別のことをしようとする気持ちになっていないのが問題だと思う。
- ・読書週間は、大切な取組だと思うので続けてほしい。
- ・我が子に本を読む習慣がつくように工夫している。市立図書館で10冊程度の本を借りて家に置いておいたら、読むようになってきた。担任から読書の勧めの声掛けがあり、それも効果的だったと思う。
- ・読書は、理解力等を育てるのに大変有効である。来年度も読書週間を充実させ、親子読書等に取り組む等、家庭での読書習慣づくりに生かしてほしい。
- ・来校時、廊下等で子どもたちに会うと、大きな声で挨拶してくれる。
- ・地域で出会った時も挨拶してくれる子どもは多いと思う。
- ・子どもの友達が家に遊びに来るが、みんな挨拶や言葉遣いはよいと感じている。マナーもよいと思う。

2. 令和5年度の学校運営基本方針について

(1) グランドデザイン改定の趣旨（校長）

- ・大きく変えてはいないが、重点目標を「自ら行動し、共に創り出す子」、学校経営方針を「みんなでワクワクを創り出す 学校」とした。児童は、学校生活を楽しみにしながら学習や行事に取り組んでほしい。また、職員、保護者、地域の方はそれぞれ協力しながらより良い学校となるようにしていきたい。

(2) 令和5年度教育課程の方針と年間行事予定（校長・教頭）

- ・150周年記念体育大会
（富岡小学校体育大会として、8時40分開始～12時00分終了を基本として日程を考えたい。）
- ・150周年記念文化祭（150周年記念式典）
（午前は、記念式典・児童発表・公演・作品展とし、午後は親子体験活動とする。）
- ・150周年記念全校遠足
（5月上旬にスマイル班で行う。往復8km程度のコースを設定し、150周年にちなんだオリエンテーリング等を取り入れる。）
- ・150周年記念マラソン大会
（学年毎にコースを設定するのではなく、選択制にするか、「競技者」「ファンマラソン」等の種目に分けるかを検討する。）

- ・入学式・卒業式
(来賓案内は、後援会長・青少年育成会長・代表町内会長・PTA会長・富岡保育園長、学校運営協議会委員とし、祝辞はいただかないで、その場で全員から一言ずついただくようにしたい。)
- ・PTA活動について
(組織のスリム化が図られたので、活動内容は前例踏襲としないで、やりたいことや無理なく出来ることに取り組むよう、各部で検討する。)
(PTA 歓送迎会は、実施しない方向)
- ・その他
(上記以外の各種行事や児童会活動等においても、できるだけ150周年記念の冠をつけるなどして内容の工夫を図りたい。
(中学校の部活動改革と併せ、金管課外の地域移行について検討を進める。)

*意見交換

- ・来年度は、創立150周年になる。記念式典をやるために準備をしている。それだけでなく、体育大会、マラソン大会等、学校行事に関しても150周年の要素を入れて盛り上げていく。
- ・創立150周年の記念誌はカラー印刷にはできないか。
- ・予算との関係になるが、記念誌は20ページ程度で保護者並びに地域に配布したいと考えている。
- ・マラソン大会は、今までとは違った方法で実施することを検討している。例えば、走る距離を選択できるようにする等の方法は考えられる。
- ・マラソンを苦手としたり、走ることを苦痛に思ったりしている子どもにとって選択制は、よいかもしれない。
- ・体育大会は、令和5年度は児童だけの午前開催にする。
- ・令和6年度以降の体育大会を行うにあたり、以前のように学校と地区との合同開催で行う場合は、学校の負担が大きいと聞いている。やり方を考える必要がある。
- ・例えば、午前中は、児童のみが参加し、運営は学校が行う。午後は、児童も含めて地域の参加とし、地域が運営をするような形も考えられる。
- ・地域は学校に対し、協力しようという気持ちはもっている。ただ、高齢化や社会の変化により難しい面が出てきている。
- ・地域の現状を考えると、地域の運営を誰が行っていくのか、人材不足で難しい面があるように思われる。
- ・いろいろ課題があると思われるので、来年度に体育大会について学校職員及び地域代表等を含めて会議をし、方向性を検討していく。
- ・後援会及びPTA主催の歓送迎会も新型コロナウイルス感染症が収束していない現状では無理だが、収束後に検討していく。

協議の結果、「令和4年度の学校経営」や「令和5年度の学校運営基本方針」等は、富岡小学校学校運営協議委員より承認されたことを報告する。